



魂を120% 打ちこめることを求めて、 チャレンジ!!

上海ラクトコンサルテイング

楽連商務咨询有限公司 (中国名称)

総経理 **今宮徳洋**さん
同志社大学卒



人材事業部代表として上海で5年間活躍してきた今宮さん。立ち上げから関わった人材事業を安定させた後に退職して、飲食店無料予約代行サービス「楽」と予約」とスポーツイベントや社内イベントの企画運営を行うイベントプロデュース事業の二つを柱とするラクトコンサルテイングを新たに設立されました。「自分はチャレンジし続けたいとダメなんです」と話す今宮さんに起業までの経緯と今後の目標をお聞きしました。

ビジネスなら勝負できるかもしれない

—現在の事業内容を教えていただけますか？
レストランの予約代行業務とイベントプロデュースという二本の柱で事業をしています。予約代行業務では実際に足を運んで試食して、弊社が自信を持ってお客様に紹介できると思ったお店のみに加盟店になつていただき、お客様の要望に応じたメニューをお客様毎に提案しています。イベントプロデュースは弊社の独自企画でスポーツや文化イベントをしています。今回、日本人、欧米人、台湾人などのトーナメント制で国際フットボール大会を企画していますが、ゴルフ

フ大会、駅伝などもしかけていきたい。他に運動会や忘年会など社員の方のモチベーションアップができる社内のイベントプロデュースもしています。
—中国との出会いを教えてくださいませんか？
大学2回生の夏休み、はじめての海外旅行で中国を訪れました。当時の上海は高層ビルの建築ラッシュでエネルギーが漲っていた。他に滞在した雲南省では、ある中国人がわざわざ仕事を一週間休んでムエタイ道場に案内してくれたり、友達を紹介してくれました。そこで出会った人みんなが親切にしてくれました。上海では都市のエネルギー、雲南省では、人の優しさや温かみを肌で感じてこの国が好きになりました。それで一年後に留学生として中国に戻ってきました。

※雲南省は、中華人民共和国西南部に位置する省
—留学中、いずれは中国で仕事をしたいと感じたのですか？
中国で働きたいという訳ではなかったのですが、留学中に「起業しよう」と決意したことが、結果的に中国で働くきっかけになりました。留学中、インドに一人旅をした時期があるのですが、自分がこれ

魂を120%打ちこめることを 一生の仕事にしたい

眠でバイトを5つぐらい掛け持ちをするという日々を過ごしました。挫折を経験したことで「次は安定した会社に腰を落ち着けよう」という考えも少しは頭をよぎったのですが、「何のために自分は起業したのか。こんな人生でいいのか!」ともう一度立ち上がったんです。次の勝負の場を考えたとき留学経験のある中国で勝負したいと思いました。それで「中国で仕事したいんです」といろいろな方に相談すると、上海での人材紹介事業の立ち上げを僕に任せていただけるというチャンスに出会い念願の中国に来ることができました。起業して挫折をしたからこそ、今があるんだと思っています。

—人材紹介事業を辞めて現在の会社を設立したのはどうしてですか？
人材紹介事業の立ち上げ時期は僕一人でしたから、かなり忙しかったんです。それが次第に社員も増えて事業が安定してくると、自分のモチベーション自体も落ち着いてきました。そう感じた時に、再び自分の将来を見つめ直したんです。今後も人材紹介の仕事が続いている自分の姿がイメージできませんでした。仕事は人生の大半を費やすものだから魂を打ちこんで取り組みたいです。自分の魂を120パーセント打ちこみ、一生の仕事にしたいと思うのは、大学時代からイベント主催者として活動してきたこともあり、人の思い出に残る体験を演出する「イベントプロデューサーだ!!」と気付いたんです。僕は安定したところにいると成長が止まってしまうので、チャレンジを続けたいとダメなんです。

—今後のお仕事の展開を教えてくださいませんか？
今まで日系企業を対象にしていたのですが、上海には多様な国の企業や人々が集まっているので、世界を対象としたビジネスで勝負したいです。上海でイベント事業をやればオリビックの縮小版などでもできると思うんですね。実は中国にはイベント事が少なくなくて運動会も、文化祭もほとんどないです。でもやってみると日本人以上に盛り上がる。社員旅行なんか半年前からみんなウキウキしているんですね。だからイベント事が少ないだけで、中国人はお祭り好きだ

からどんな人生を歩んでいくべきかを深く考えさせられるほどの衝撃を受けたんです。これまでの人生を振り返ってみると、僕は生徒会長など人を引っ張るポジションが多かったので、何か人に影響を与えられる存在が自分に適しているのかなと思えました。「自分に何ができる?」と考えた時に、「ビジネスは未経験なので『ビジネスで自分は勝負しよう』と思うて将来起業すると心に決めましたよ。」

学生ベンチャーを起業、 挫折、再挑戦は中国で

—その後すぐに起業されたのですか？ また中国で働くに到った経緯を教えてくださいませんか？
帰国後に起業家を育成する企業から就職の内定をいただいたのですが、同期の内定者と「自分達で起業しよう」と意気投合して、内定を辞退して学生ベンチャーで起業しました。主に学生向けにフリーペーパーや休講情報などを届けるネットサービスを行い2年半で会員数は数万人単位に上りました。ところが当時は学生向けサービスの広告価値がなくて事業失敗、借金を背負ってしまったんです。その後1年半は、借金返済のために日2時間睡眠

—読者にメッセージをお願いします。
大学時代はこれからの人生の生き方を探す時間だと思つたんです。4年間で見つかるかわからないですけど、自分の興味のあることは片っ端からチャレンジして欲しい。その中で見えてくるものがあると思います。考えるよりも行動する、遊びも、バイトもやるからには徹底的に。



上海ラクトコンサルテイング内でのインタビューの様子

—読者にメッセージをお願いします。
また中国の大学生はいい会社に入るために勉強するという発想しかないのでは、と感じることもあるので、大学生活は勉強以外にもいろいろな可能性が見出せる期間」だとイベントを通して提案したいんですよ。

Data

●上海ラクトコンサルテイング
楽連商務咨询有限公司 (中国名称)
2009年設立
上海市普陀区澳門路519弄2号華生大廈11F

上海ラクトコンサルテイング

Web 上海ラクトコンサルテイング 検索